

成人

祝

1月7日 追分公民館で平成19年成人式が行われ、対象者106名中68名が出席。安平町として初めての式典に町長や議長などが二十歳の門出を祝福しました。
ロビーでは同級生や中学校の先生との再会に楽しい会話が弾んでいました。



追分中時代の担任だった島山 健先生(写真左から3人目)と伊東(旧姓 五十嵐)亜紀子先生(同4人目)



晴れ姿の新成人

成人誓いのことば

本日は、私たち新成人の門出をお祝い下さりまして、誠にありがとうございます。

私たちは、多くの友人とともに大人の仲間入りを迎えることができましたが、父母はもちろんのこと、地域社会の様々な方に温かく見守られたことへの感謝の気持ちとともに、大きな責任がともなう新たな出発に少なからず不安を感じています。

今日の日を境にもう一度自分の足元を見つめ直し、成人として自覚ある行動をとることが、私たちに課せられた大きな責任であると思います。

我々には予想がつかないような大きな天災、未だ頻繁に繰り返される紛争等、今日の世界情勢は極めて不安定であるといえます。日本においても、弱者を標的にした凶悪事件、犯罪の低年齢化、少子高齢社会の到来など、私たちが取り巻く環境は、必ずしも明るい状況ではないのが現状です。

しかし、このような時代だからこそ、自らの可能性を信

じ、夢と希望そして限りない創造力を持って、何事にも果敢に挑戦していく気持ちを忘れず、成人としての第一歩を力強く踏み出したいと思えます。

私たちは、安平町として最初の年に成人を迎えることとなります。この新しい町を築いていくために、この地でともに学び、遊んだ多くの友と、今日という区切りの日をもう一度深くかみしめ、社会人として豊かな心をもち、目標を掲げ、たゆまぬ努力と研鑽を積んでいきます。

成人を迎えたといっても、まだまだ未熟である私たちです。本日お集まりの皆さま、今後とも良き先輩としてご指導下さいますよう、心からお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、このような盛大な式典を開催して下さいました皆さまに対し、心から感謝し、成人の誓いの言葉といたします。

平成19年1月7日